

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭60—16271

⑪ Int. Cl.<sup>4</sup>

G 07 F 7/02  
9/00

識別記号

庁内整理番号  
7257—3 E  
7257—3 E

⑬ 公開 昭和60年(1985)2月4日

審査請求 未請求

(全 頁)

⑭ 自動販売機

① 実 願 昭58—106527  
② 出 願 昭58(1983)7月11日  
③ 考 案 者 竹島俊雄

小浜市駅前町13番10号株式会社  
芝浦製作所小浜工場内  
⑦ 出 願 人 株式会社芝浦製作所  
東京都港区赤坂1丁目1番12号

## 明 細 書

### 1. 考 案 の 名 称

自動販売機

### 2. 実 用 新 案 登 録 請 求 の 範 囲

金銭および磁気カード等異なる種類の入力部を有し、夫々の入力部により異なる料金体系の演算回路を備え、この演算回路により販売の指令を出すよう構成し、商品若しくは食券等の販売を行なうことを特徴とする自動販売機

### 3. 考 案 の 詳 細 な 説 明

本考案は、異なる料金体系を有する自動販売機に関する。

自動販売機は、一般的に設定した価格で一様に商品を販売するよう構成されており、誰でも任意に同一価格で商品を購入することが出来るものである。

このため、利用者により異なる料金体系を形成することは出来なかった。

従って、社員食堂の如く、特別の料金体系が必要な場所での食券販売等、異なる料金体系を行な

うには、料金体系の異なる自動販売機を別々に設置することになった。

しかしながら、このように異なる料金体系の自動販売機を設置すると利用者にとっては、誤って使用する者があり、また価格差がよく分るため不都合なことがあった。

本願考案は、このような事情に鑑みてなされたものであり、異なる料金体系を実施出来る自動販売機を提供することを目的としている。

以下、本考案を図面に示された一実施例にもとづいて説明すると、第1図は、本考案の一実施例による自動販売機の外観図であり、第2図は、その構成を示す図である。

第1図において、自動販売機は正面に商品の陳列棚1が設けられ、陳列棚1の下方に金銭の投入口2と磁気カードの投入口3とが設けられている。

そして、下方には、商品の販売口4が設けられている。

第2図において、自動販売機は、磁気カードの入力部5と金銭の入力部6とが設けられ、夫々制

制御演算回路 7 に入力されている。

そして、制御演算回路 7 は、CPU を介してメモリー回路 8 に接続されており、メモリー回路 8 は、夫々異なる料金体系を形成しており磁気カード用メモリー回路 9 と現金用メモリー回路 10 とを形成している。



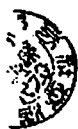
さらに、図示されない販売機能および構成で食券等の商品が販売出来るよう構成されている。

このような販売の機能および構成は、従前の自動販売機の機能、構成でよく、従来技術で容易に可能なものである。

このような構成において、自動販売機は、現金を金銭の投入口 2 に投入すると、制御演算回路 7 は、投入されたものが現金であることを確認してからメモリー回路 8 の現金用メモリー回路 10 で指定の商品を販売するための釣銭や販売の指示を演算する。

また、磁気カードを磁気カードの投入口 3 へ投入すると磁気カードの入力部 5 は、投入された磁気カードにより制御演算回路 7 で演算しメモリー

回路8の磁気カード用メモリー回路9で現金の投入とは異なる料金体系で演算した後、商品を販売する。このように、磁気カードの投入と現金の投入とを夫々異なる演算回路で演算して商品の販売を行なうと、一般の商品購入者と社員等の特別の商品購入者との価格体系を別にすることが出来る。



従って、特別の価格で商品を購入する購入者と一般的な価格で商品を購入する購入者とが利用する自動販売機を夫々別に設置する必要はなく、1台の自動販売機で対応することが出来る。

このため、食堂等の人が多く混雑する場所で、不要に自動販売機を設置する必要がなくなり場所の有効利用が出来る。

また、異なる料金体系の自動販売機が併設されると利用者が躊躇することが起るが、1台の自動販売機で現金と磁気カードの異なる入力形態を備えることにより、容易に異なる状態が確認出来るため利用者の躊躇することがなくなる。

特に、金銭の投入口2と磁気カードの投入口3

とを併設することにより利用者に容易に投入の区別をさせることが出来るため効果的になる。

以上説明の通り、本考案によれば、金銭および磁気カードの投入を可能に構成し、異なる料金体系を形成したことにより、利用者の区別を行ない異なる料金体系を1台の自動販売機で実施することが出来ることになり、場所的制約のある、また混雑する食堂等において、効果的でありその実用的価値はきわめて大きいものである。

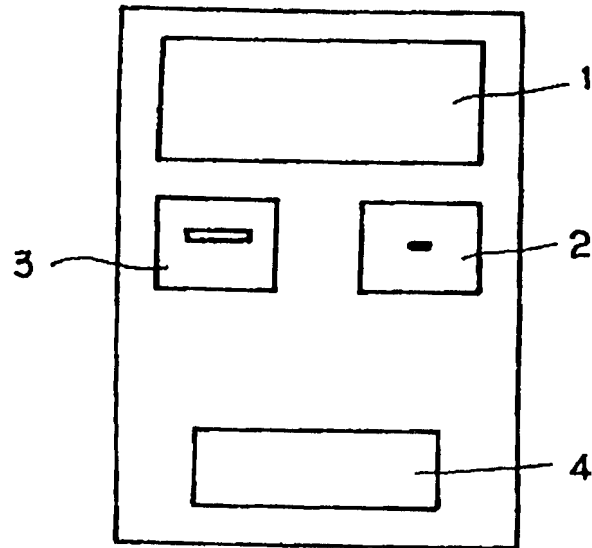
#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は、本考案の一実施例による自動販売機の外観図であり、第2図は、その構成を示す図である。

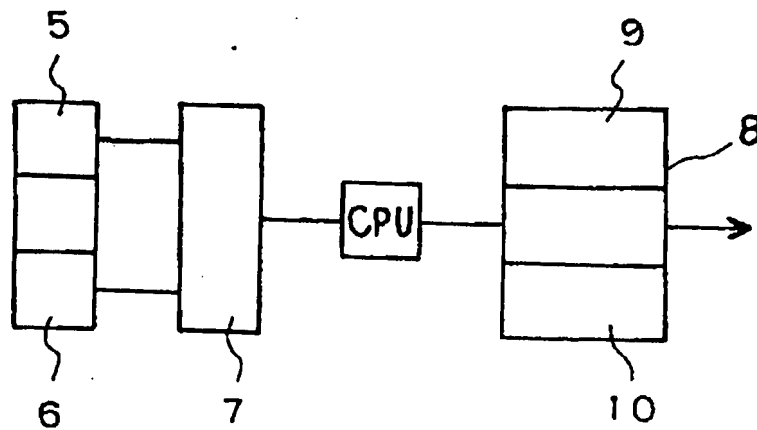
1…陳列棚、 2…金銭の投入口、 3…磁気カードの投入口、 4…商品の販売口。

実用新案登録出願人  
株式会社芝浦製作所

第1図



第2図



実用新案登録出願人  
株式会社エヌエス